

マッシュューズ・アジア株式ファンド

<愛称：パシフィック・タイガー>

追加型投信／海外／株式

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、主として円建ての外国投資証券への投資を通じて、実質的に日本を除くアジア地域に関係する株式に投資を行い、信託財産の成長を図ることを目的として、積極的な運用を行います。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2020年5月16日～2021年5月17日

| | | |
|----------------------|----------------|----------|
| 第3期 | 決算日：2021年5月17日 | |
| 第3期末 (2021年5月17日) | 基準価額 | 12,794円 |
| | 純資産総額 | 3,585百万円 |
| 第3期 | 騰落率 | 52.8% |
| | 分配金合計 | 0円 |

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。
(注2) △ (白三角) はマイナスを意味しています (以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <http://www.am-one.co.jp/>

運用経過の説明

基準価額等の推移



第3期首： 8,371円
 第3期末： 12,794円
 (既払分配金0円)
 騰落率： 52.8%
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

アジア株式市場が大きく上昇し、アジア主要通貨の多くも対円で上昇したことから、基準価額は大幅な上昇となりました。国・地域別では、中国、韓国、台湾、インド、香港などの組入れが基準価額にプラス寄与となりました。業種別では、情報技術、一般消費財・サービス、金融、コミュニケーション・サービス、生活必需品などの組入れがプラス寄与となりました。

◆組入ファンドの当作成期間の騰落率

| 組入ファンド | 騰落率 |
|--|-------|
| マシューズ・アジア・ファンズーパシフィック・タイガー・ファンドーIクラスシェア(JPY) | 56.2% |
| DIAMマネーマザーファンド | △0.1% |

(注) マシューズ・アジア・ファンズーパシフィック・タイガー・ファンドーIクラスシェア(JPY)の騰落率は、分配金を再投資したものとみなして計算したものです。

1 万口当たりの費用明細

| 項目 | 第3期 | | 項目の概要 |
|---------------------|-----------------------------|------------------|--|
| | (2020年5月16日 ～2021年5月17日) | | |
| | 金額 | 比率 | |
| (a) 信託報酬 | 118円 | 1.028% | (a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は11,441円です。 投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各种書類の作成、基準価額の算出等の対価 販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価 |
| (投信会社) | (38) | (0.332) | |
| (販売会社) | (76) | (0.664) | |
| (受託会社) | (4) | (0.033) | |
| (b) その他費用 (監査費用) | 0 (0) | 0.003 (0.003) | (b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用 |
| 合計 | 118 | 1.031 | |

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

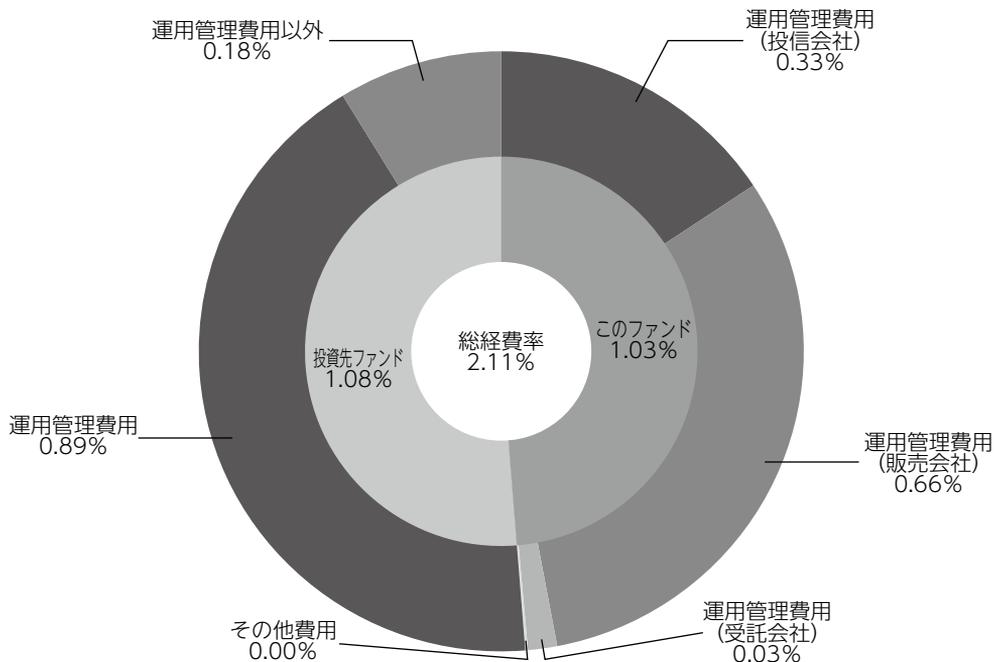
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）が支払った費用を含みません。

(参考情報)

◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.11%です。



| | |
|----------------------|-------|
| 総経費率 (①+②+③) | 2.11% |
| ①このファンドの費用の比率 | 1.03% |
| ②投資先ファンドの運用管理費用の比率 | 0.89% |
| ③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率 | 0.18% |

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

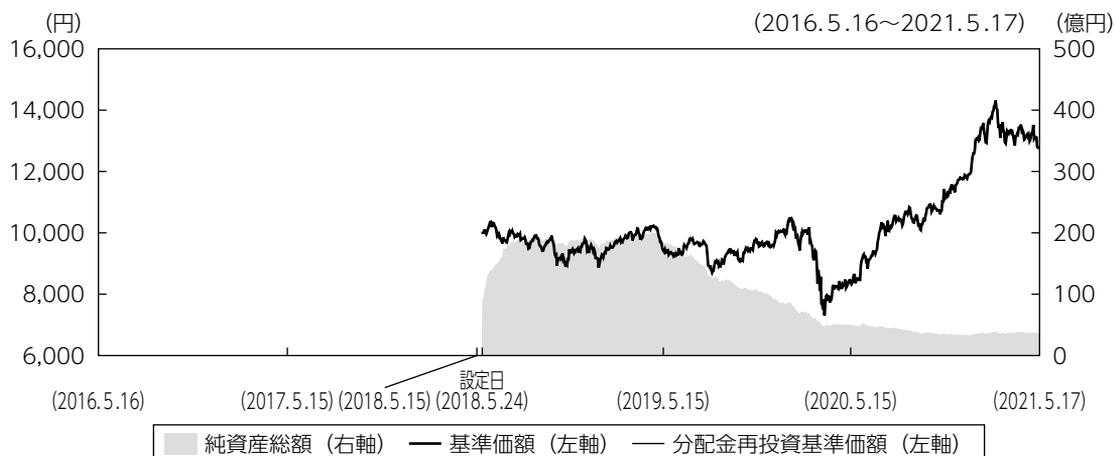
(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 基準価額は、設定日前日を10,000として計算しています。
- (注4) 分配金再投資基準価額は、設定日前日を10,000として指数化しています。

| | 2018年5月24日 設定日 | 2019年5月15日 決算日 | 2020年5月15日 決算日 | 2021年5月17日 決算日 |
|--------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 基準価額 (分配落) (円) | 10,000 | 9,424 | 8,371 | 12,794 |
| 期間分配金合計 (税引前) (円) | — | 0 | 0 | 0 |
| 分配金再投資基準価額の騰落率 (%) | — | △5.8 | △11.2 | 52.8 |
| 純資産総額 (百万円) | 9,178 | 18,471 | 4,974 | 3,585 |

- (注1) 設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しております。
- (注2) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークを定めておりません。

投資環境

当期のアジア株式市場は上昇しました。期初、新型コロナウイルスの感染拡大と経済への影響が懸念される中、各国の財政・金融刺激策を受けて上昇傾向となりました。2020年9月以降、米中の緊張感の高まりや米国大統領選挙を前に調整する局面もありましたが、バイデン政権の誕生や、新型コロナウイルスのワクチン実用化による景気回復期待から全面高となりました。期末にかけては、改善する企業業績が下支えする一方、力強い経済成長見通しがインフレ懸念に繋がり、一進一退の展開となりました。

アジア主要通貨の多くは対円で上昇しました。新型コロナウイルスの感染拡大は継続し、米中間の緊張も高まる中、各国の財政・金融刺激策により、世界経済が緩やかに回復傾向を見せたことを受けて、当期半ばにかけて、総じて堅調に推移しました。その後は、米国大統領選挙でのバイデン氏の当選が確実という見方が強まったことや、新型コロナウイルスのワクチン実用化による景気回復期待から、新型コロナウイルスの感染が落ち着いた国の通貨を中心に堅調に推移しました。

国内短期金融市場では、3ヵ月物国庫短期証券利回りは日銀の金融緩和政策の影響からマイナス圏で推移しました。日銀が大規模な金融緩和政策を続けており、国債利回りに低下圧力がかかっていることが要因となりました。

ポートフォリオについて

●当ファンド

マシューズ・アジア・ファンズーパシフィック・タイガー・ファンドーIクラスシェア（JPY）の組入比率は高位を維持しました。また、DIAMマネーマザーファンドへの投資を行いました。

●マシューズ・アジア・ファンズーパシフィック・タイガー・ファンドーIクラスシェア（JPY）

アジア経済の成長の恩恵を受けつつ、景気循環に大きく影響されることなく持続的な収益を生み出すと期待される銘柄を中心にポートフォリオを構築しました。セクター別では、内需拡大の恩恵を受ける消費関連、一部の金融セクターの組入れを高めにしました。国別では、インドやフィリピン、インドネシア、ベトナムなど、相対的に高い経済成長が期待できる国の組入れを高めにしました。

●DIAMマネーマザーファンド

残存期間の短い国債や政府保証債などで運用を行いました。

分配金

当期の収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、無分配とさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配原資の内訳（1万口当たり）

| 項目 | 当期 |
|------------|---------------------------|
| | 2020年5月16日 ～2021年5月17日 |
| 当期分配金（税引前） | －円 |
| 対基準価額比率 | －％ |
| 当期の収益 | －円 |
| 当期の収益以外 | －円 |
| 翌期繰越分配対象額 | 2,794円 |

（注1）「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

（注2）当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

（注3）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

引き続き、マシューズ・アジア・ファンズーパシフィック・タイガー・ファンドーIクラスシェア（JPY）とDIAMマネーマザーファンドに投資を行い、長期的な値上り益の獲得をめざして運用を行います。

●マシューズ・アジア・ファンズーパシフィック・タイガー・ファンドーIクラスシェア（JPY）

アジア株式市場は、これまでの株価上昇によりバリュエーションも上昇していますが、先進国市場と比較して、依然として割安な水準で取引されています。先行きの企業業績予想についても先進国よりも高い水準で推移し、業績予想の改善が続いています。当ファンドでは、アジア経済の成長の恩恵を受けつつ、景気循環に大きく影響されることなく持続的な収益を生み出すと期待される銘柄を中心に、消費関連や一部の金融セクターの組入れを高めとする方針です。

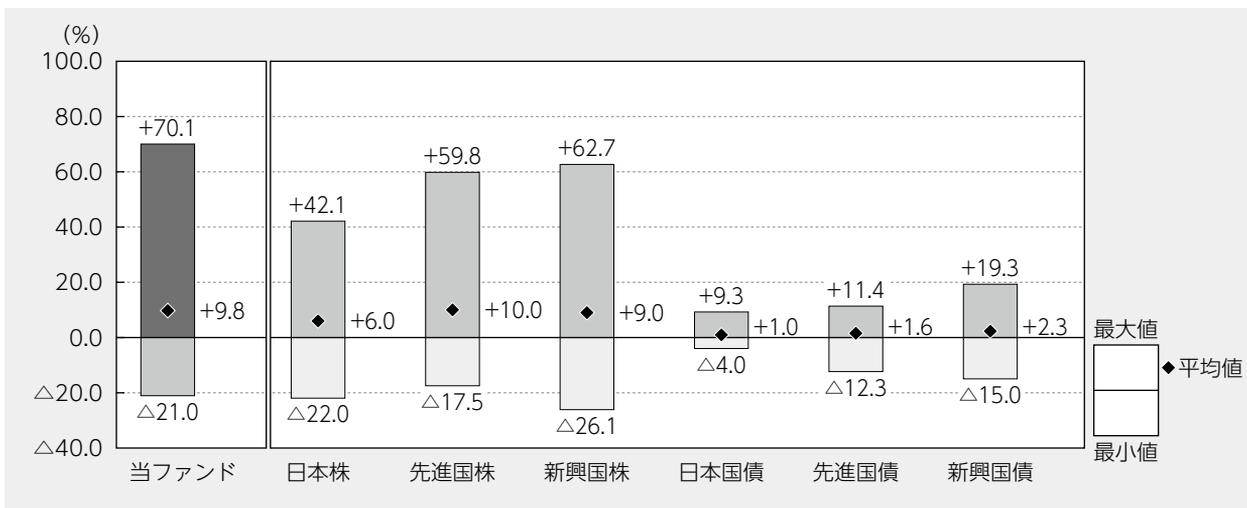
●DIAMマネーマザーファンド

日銀は新型コロナウイルスによる景気落ち込みに対処するため、緩和的な金融政策を継続していくと予想しています。そのため、今後も公社債を中心に投資を行い、安定的な運用をめざしていきます。

当ファンドの概要

| | |
|--------|---|
| 商品分類 | 追加型投信／海外／株式 |
| 信託期間 | 2018年5月24日から2028年5月15日までです。 |
| 運用方針 | 信託財産の成長を図ることを目的として、積極的な運用を行います。 |
| 主要投資対象 | 主として、ルクセンブルグ籍外国投資法人「マシューズ・アジア・ファンズーパシフィック・タイガー・ファンドーIクラスシェア（JPY）円建投資証券」（以下「マシューズ・ファンド」といいます。）と「DIAMマネーマザーファンド受益証券」に投資します。 |
| 運用方法 | <p>主として日本を除くアジア地域に関係する株式（※1、※2）へ実質的に投資を行うことで、長期的な値上り益を獲得することをめざします。</p> <p>※1 アジア地域に関係する株式とは、アジアに所在する企業に限らず、アジアの取引所に上場している企業、売上や利益、保有資産などで50%以上をアジア地域が占める企業、またはアジア各国の政府関連企業などを含みます。</p> <p>※2 DR（預託証券）もしくは株式と同等の投資効果が得られる権利を表示する証券および証書等を含みます。</p> <p>アジア経済の成長の恩恵を受けつつ、景気循環に大きく影響されることなく持続的な収益を生み出すと期待される銘柄を中心に、企業のファンダメンタルズや成長性等を総合的に勘案して投資銘柄を選別しポートフォリオを構築します。</p> <p>株式の実質的な運用は、マシューズ・インターナショナル・キャピタル・マネジメント・エルエルシーが行います。</p> <p>マシューズ・ファンドの組入比率は、原則として高位とすることを基本とします。</p> <p>実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。</p> |
| 分配方針 | 決算日（毎年5月15日。休業日の場合は翌営業日。）に、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。 |

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



当ファンド : 2019年5月~2021年4月

代表的な資産クラス : 2016年5月~2021年4月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

*各資産クラスの指数

日本株……東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容（2021年5月17日現在）

◆組入ファンド等

（組入ファンド数：2ファンド）

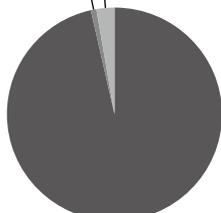
| | 当期末 |
|---|------------|
| | 2021年5月17日 |
| マッシューズ・アジア・ファンズーパシフィック・タイガー・ファンドーIクラスシェア（JPY） | 96.5% |
| DIAMマネーマザーファンド | 0.8 |
| その他 | 2.7 |

（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

◆資産別配分

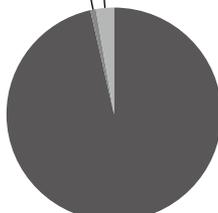
親投資信託受益証券 0.8%
その他 2.7%



外国投資証券
96.5%

◆国別配分

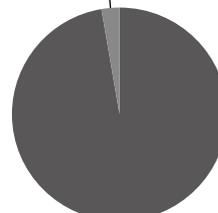
日本 0.8%
その他 2.7%



ルクセンブルグ
96.5%

◆通貨別配分

その他 2.7%



日本・円
97.3%

（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

純資産等

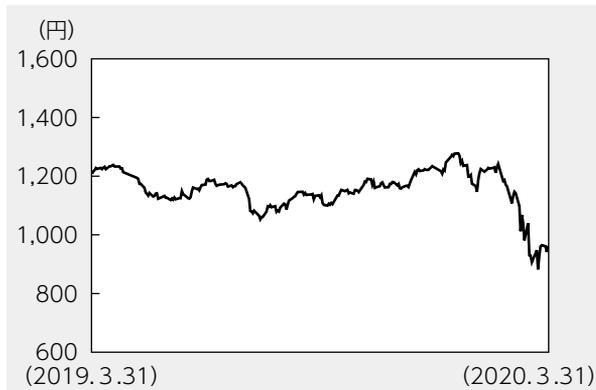
| 項目 | 当期末 |
|------------|----------------|
| | 2021年5月17日 |
| 純資産総額 | 3,585,156,051円 |
| 受益権総口数 | 2,802,141,667口 |
| 1万口当たり基準価額 | 12,794円 |

（注）当期中における追加設定元本額は422,452,714円、同解約元本額は3,563,431,664円です。

組入ファンドの概要

【マッシューズ・アジア・ファンズーパシフィック・タイガー・ファンドーIクラスシェア（JPY）】
 （計算期間 2019年4月1日～2020年3月31日）

◆基準価額の推移



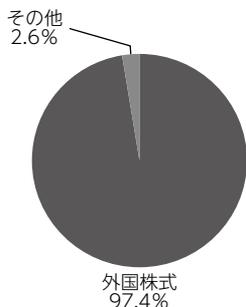
◆組入上位10銘柄

| 銘柄名 | 比率 |
|--|------|
| Alibaba Group Holding, Ltd. | 6.8% |
| Tencent Holdings, Ltd. | 6.4 |
| AIA Group, Ltd. | 5.3 |
| Samsung Electronics Co., Ltd. | 5.2 |
| China Resources Land, Ltd. | 4.9 |
| China Resources Beer Holdings Co., Ltd. | 3.5 |
| NAVER Corp. | 3.2 |
| Hong Kong Exchanges & Clearing, Ltd. | 2.9 |
| Ping An Insurance Group Co. of China, Ltd. | 2.7 |
| Inner Mongolia Yili Industrial Group Co., Ltd. | 2.5 |
| 組入銘柄数 | 52銘柄 |

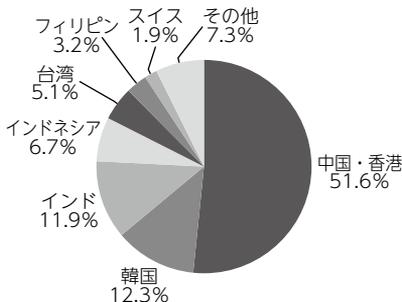
◆1口当たりの費用明細

費用明細については開示されていないため、掲載しておりません。

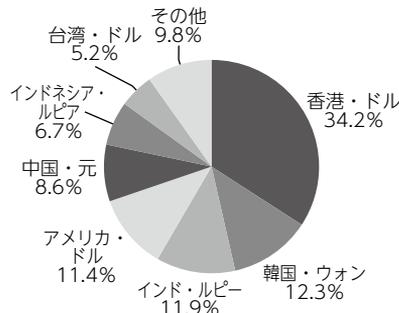
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移はマッシューズ・アジア・ファンズーパシフィック・タイガー・ファンドーIクラスシェア（JPY）の計算期間（決算日が休日の場合は前営業日まで）のものであります。また、投資顧問会社であるマッシューズ・インターナショナル・キャピタル・マネジメント・エルエルシーのデータをもとにアセットマネジメントOneが作成したものです。

(注2) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分については、マッシューズ・アジア・ファンズーパシフィック・タイガー・ファンドの決算日（決算日が休日の場合は前営業日）現在の状況を表示しております。

(注3) 比率はマッシューズ・アジア・ファンズーパシフィック・タイガー・ファンドの純資産総額に対する組入有価証券評価額の割合です。

(注4) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

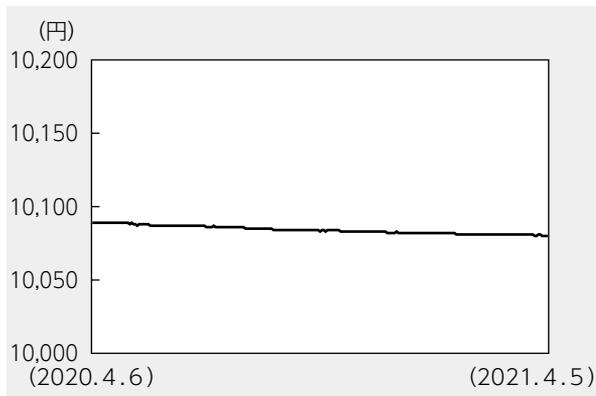
(注5) 上位8位以下がある場合はその他に含めて集計しています。

(注6) 国別配分は、発行国（地域）を表示しています。

(注7) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは、投資顧問会社であるマッシューズ・インターナショナル・キャピタル・マネジメント・エルエルシーのデータを基にアセットマネジメントOneが作成したものです。組入全銘柄や費用の総額に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

【DIAMマネーマザーファンド】（計算期間 2020年4月7日～2021年4月5日）

◆基準価額の推移



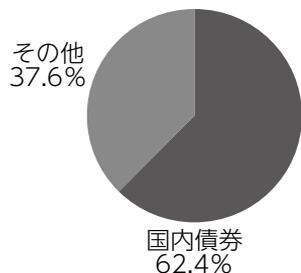
◆組入上位10銘柄

| 銘柄名 | 通貨 | 比率 |
|------------------------|------|-------|
| 407回 利付国庫債券（2年） | 日本・円 | 18.8% |
| 402回 利付国庫債券（2年） | 日本・円 | 18.8 |
| 27回 政保地方公共団体金融機構債券 | 日本・円 | 14.5 |
| 147回 政保日本高速道路保有・債務返済機構 | 日本・円 | 9.4 |
| 133回 政保日本高速道路保有・債務返済機構 | 日本・円 | 0.5 |
| 137回 政保日本高速道路保有・債務返済機構 | 日本・円 | 0.4 |
| — | — | — |
| — | — | — |
| — | — | — |
| — | — | — |
| 組入銘柄数 | 6銘柄 | |

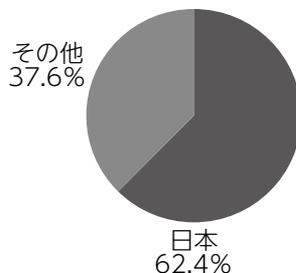
◆1万口当たりの費用明細

計算期間中に発生した費用はありません。

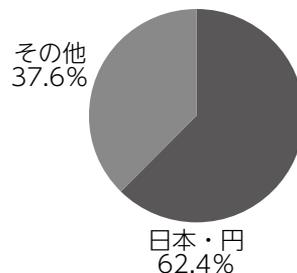
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注3) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注4) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注5) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数（TOPIX）」は、東京証券取引所第一部に上場されているすべての株式の時価総額を指数化したものです。同指数は、株式会社東京証券取引所（㈱東京証券取引所）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、㈱東京証券取引所が有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI国債」は、野村證券株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(このページは白紙です)

(このページは白紙です)

